

バンコクにおける鉄道インフラの整備について（その後）
一般調査報告書

昨年8月の一般調査報告書で、「バンコクにおける鉄道インフラの整備について」と題し、レポートしましたが、現在、BTS（高架鉄道）やMRT（地下鉄）の延伸工事が一部完成し、新たな駅が開業しはじめています。

また、バンコクの新たな中央駅として開発計画が進められているバンスー駅の工事現場を見学する機会がありましたので、今回は、鉄道インフラの整備状況のその後について、ご報告したいと思います。

① BTS（高架鉄道）の延伸

2018年12月にスクンビットラインの南部区間が延伸し、「Samrong 駅」から「Kehha 駅」まで8駅が新たに開業しました。このエリアはバンコクに隣接するサムットプラカーン県に位置しており、トヨタやパナソニックの工場もある工業地域になります。

この沿線には日本人が多く住む「Phrom Phong 駅」や「ThongLo 駅」、「Ekkamai 駅」があり通勤でもよく利用されますが、南部延伸に伴い新たなアパートやコンドミニアムの供給が進んでおり、朝の通勤時間帯には列車を2~3本見合わせないと乗車が難しいほどの混雑状況となっています。新型車両も導入され、一部座席をなくし多くの人に乗れる仕様にしたのですが、利用者が増加しているため、混雑が緩和されている様子はありません。

スクンビットラインの北部区間は2019年8月に「Mochit 駅」から1駅伸び「HaYaek LadPrao 駅」まで開業しました。同年12月にはさらに4駅伸び、「Kasetsart University 駅」まで完成する予定で、北東部に広がる住宅街に住む人々の都心への移動手段として大変期待されています。

② MRT（地下鉄）の延伸

MRTのブルーラインの南部は、これまで中央駅のある「HuaLumphong 駅」が終点でしたが2019年9月から11駅が新たに開通し、チャオプラヤ川の西側にある「LakSong 駅」まで伸びました。

この延伸によって、これまで車でしか行けなかったタイの観光名所である「王宮（ワットプラケオ）」や「ワットポー」、チャイナタウンの「ヤワラート」まで地下鉄を利用して行けることとなり、観光客にとっても大変便利になりました。

駅の建物や内装も「Wat Mangkorn 駅」はチャイナタウンを、「Sanam Chai 駅」は王宮をイメージしたデザインになっており、地元のメディアによると地下鉄の開通後、観光客が急激に増えているそうです。

(Wat Mangkorn 駅)



(Wat Mangkorn 駅構内)



(チャイナタウン)



(Sanam Chai 駅)



ブルーライン北部は、「Tao Poon 駅」からパープルラインに接続しており、郊外から都心への移動手段として多くの方に利用されるようになっていきます。

また 2020 年 3 月には「Tao Poon 駅」から南部の「Tha Pra 駅」までがつながりブルーラインの環状化が完成し、バンコク都内の移動手段の利便性が格段に向上することとなります。

③ バンスー駅の工事状況

現在バンコクでは様々な鉄道インフラ工事が進められていますが、バンスー駅開発も大変注目されています。100 年以上経ち老朽化が激しい「HuaLumphong 駅」に代わって、

バンスー駅をタイの新たな中央駅として開発するもので、基本計画の策定には日本の JICA も大きく関わっています。

バンスー駅は、BTS レッドラインのほか、高速鉄道や長距離路線などが集まる中央駅となり、MRT(地下鉄)ともつながる計画です。また、周辺にはバスターミナルや政府機関、商業施設、居住施設、公園などをゾーン開発する予定で、全体で約 230ha の大規模な都市開発計画となっています。

なお、レッドラインは 2021 年には「Bang Sue 駅」から「Rangsit 駅」まで開業する予定で、この区間には空港がある「Don Muang 駅」にもつながり、国内外からの多くの観光客やビジネスマンにとっても都内中心部へのアクセスが便利になります。

(バンスー駅正面)



(バンスー駅構内)



(バンスー駅構内)



(高速鉄道予定ホーム)



④ 2025 年までの整備状況計画

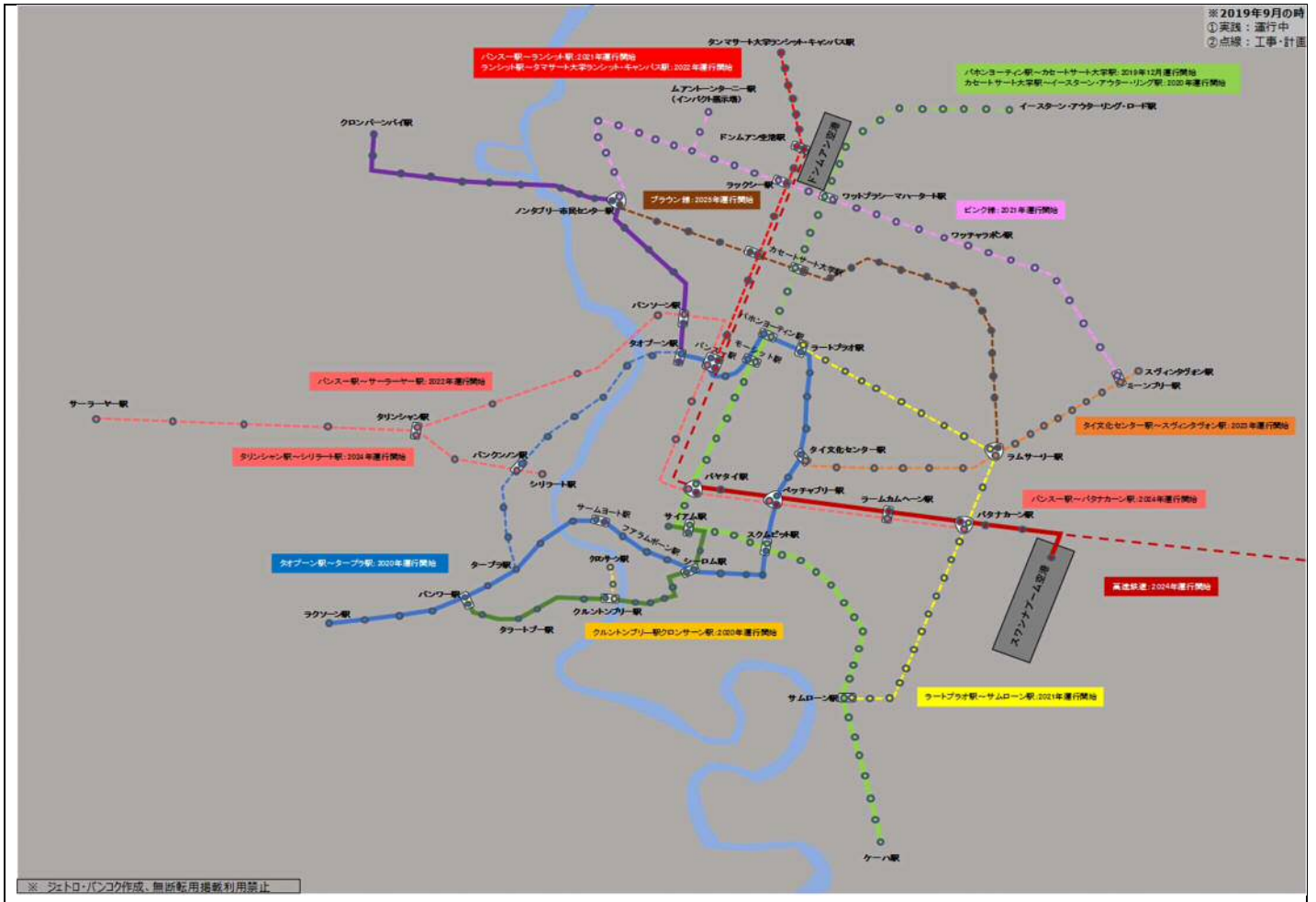
2020 年にはグリーンラインがさらに北部へ延伸し、2021 年にはイエローラインやピンクラインも新たに開業します。

さらに、オレンジラインは 2023 年開業、ライトレッドラインは 2022～2024 年開業、ブラウンラインは 2025 年開業が予定されており、2025 年までには新たな路線や延伸が続々と完成する計画です。

鉄道インフラの整備の進展に伴い、都市部への自動車流入の緩和、自動車排気ガスによる空気汚染の改善など、バンコクにおける社会課題の解決に向けた効果が期待されるとともに、沿線のオフィスやコンドミニアムの開発など、都市部の機能向上も図られ、バンコクにおける都市はさらに発展していくこととされます。

バンコクの姿は年々大きく変化しており、アジアの活力を日々感じます。

(2025年時点におけるバンコク鉄道インフラ計画図)



本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。